

被団協に平和賞

ノーベル委、被爆者たたえ

証言通じ「核廃絶へ尽力」

ノルウェーのノーベル委員会は11日、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表した。授賞理由は「核兵器のない世界の現実に尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを証言を通じて示してきた」としている。

ノーベル委員会はこれまで、核軍縮・不拡散の取り組みを後押ししてきた。2009年に「核なき世界」を訴えた米国のオバマ大統領(当時)に、17年には核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)に平和賞が贈られた。

日本被団協は、広島や長崎で原爆の被害を受けた生計を立てる組織。体験談を通じて、国内外で核廃絶を訴えてきた。ノーベル委員会は、被爆者について「筆舌に尽くしがたいものを描写し、理

解が及ばない痛みや苦しみを我々が理解する一助となった」とたたえた。一方、「世界の歴史で最も破壊的な兵器」が使われれば、数百万人が殺傷され、環境に壊滅的な影響が及び、文明が破壊されると警鐘を鳴らした。

ただ、その実相を伝えてきた被爆者は高齢化が進む。今年新たに就任したノーベル委員会のヨルゲン・ワトネ・フリドネス委員長は「歴史の証人である被爆者はいつの日か、我々とともにいなくなる」と述べつつ、

「日本の若い世代が、被爆者の経験とメッセージを継いでいる」と後世に語り継がれることに期待を寄せた。

フリドネス氏は朝日新聞の電話取材に「何十年にもわたって声を上げ、体験を語ってきた被爆者、そして時間の経過とともに亡くなった被爆者双方に対する授賞だ」と語り、「核兵器はロシア・ウクライナ戦争と、中東における紛争の両方に明確に関わっている。それだけでなく、我々人類全体にとつての課題だ」と訴えた。

13歳の時に長崎で被爆した日本被団協の代表委員・田中照巳さん(92)は取材に「数日前に受賞する夢を見ていた。本当に

なったのかとうれしい」と笑顔を見せた。一方、緊迫する国際情勢を念頭に、「この情勢が続けば、また核兵器が使われる危機がある。世界の人に核の恐ろしさを知ってもらいたい」と語った。

石破茂首相は11日、訪問先のラオスで、「長年、核兵器の廃絶に向けて、取り組んできた同団体にノーベル平和賞が授与されることは極めて意義深いことだ」と述べた。

日本からの受賞は「非核三原則」を訴えた1974年の佐藤栄作元首相以来50年ぶり。

(藤原学恵・ロンドン、平川七



平和賞受賞の知らせに涙を流す広島県被団協の箕牧智之理事長(右)。左は高校生平和大使=11日午後6時2分、広島市中区の広島市役所、上田潤撮影

日本からの受賞 50年ぶり

高まる核リスクに警鐘

視点

今、欧州と中東で核戦争の芽をはらむ戦争が起きている。東アジアでも中国や北朝鮮が核軍備を増強している。核使用のリスクはかつてなく高まっている中、日本被団協のノーベル平和賞受賞は、ノーベル委員会が抱く危機感の表れだろう。

同委員会はこの差し迫った危機に人類への警鐘を鳴らすため、被爆80年を迎える入り口のタイミングで、二度と同じ体験をさせない」と訴えてきた被爆者の証言に立ち返

ってほしいというメッセージを送ったように思える。高齢化する被爆者が存命のうち、その思いを受け継げるように。

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECN A)の吉田文彦センター長は、授賞理由の説明の中で、核兵器の使用は道徳的に受け入れがたいという考え方の「核のタブー」という言葉が何度も使われたことに注目す

る。核のタブーの崩壊により、核危機感を持ち、核廃絶よりもまず、核を使わせないことに重きを置いていと受け止めた。

今年8月6日の広島平和宣言は、冷戦時代に「核戦争に勝者はない」と合意した米ソ首脳に触れた。両首脳の脳裏にあったのは被爆地の惨状だ。広島・長崎が核保有国の暴走を抑えて「歯止め」の役割を果たす礎は、被爆者たちが体験を語り、核廃絶の声を世界に発信してきた取り組みの積み重ねにこそある。

だが、重要な核軍縮条約が相次いで姿を消し、

世界にはなお1万2千超の核兵器がある。核保有国は核兵器禁止条約に背を向け、日本は被爆国でありながら安全保障で米国の「核の傘」に頼り、核の共同運用を求める動きすらある。

核危機が高まる中で、受賞は、「キノコ雲の下で一体何が起きているか」を世界が「自分事」として見つめ直す好機だ。ノーベル委員会のメッセージを私たちも共有したい。

(編集委員・副島英樹)

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)
1956年8月に結成された。長年にわたって国や自治体に援護施策の拡充を求める一方、国連軍縮特別総会や核不拡散条約(NPT)再検討会議といった国際会議に代表者を派遣。被爆体験の証言や原爆展の開催、署名活動などを通じて、世界に向けて核兵器廃絶や核実験禁止を訴え続けてきた。



解説人語
Asahi News Inside
ニュースの背景
動画でより深く

政府めぬけ 絶 廢

核禁条約 批准しない被爆国

唯一の戦争被爆国である日本の政府は、国際社会で「核兵器のない世界」を訴えてきたが、実現に向けた具体的な道筋は示せていない。安全保障環境が厳しさを増しているとして、米国の「核の傘」を含む「拡大抑止」の強化を図る。

広島選出の岸田文雄氏は2021年10月の首相就任時から「核兵器のない世界」を訴え続けた。22年8月には、日本の首相として初めて核不拡散条約(NPT)再検討会議に出席。核兵器不使用の継続や各国指導者の被爆地訪問など核廃絶に向

けた行動計画「ヒロシマ2025」を発表した。日本が議長国だった昨年5月の主要7カ国首脳会議(G7サミット)は広島で開催。米英仏の核兵器保有国を含む首脳らが広島平和記念資料館(原爆資料館)を訪れ、

被爆の惨状を伝える資料に触れた。しかし、日本政府は核廃絶の必要性を訴える一方で、「核の傘」を含む米国の戦力で日本を守る「拡大抑止」を重視している。日米両政府は今

年7月、軍事的に台頭する中国などへの対抗を念頭に、拡大抑止の会合を閣僚級に引き上げた。政府が核軍縮の「礎石」と位置づけるのは、核兵器の保有を米ロ英仏中の5カ国に限って認めるNPTだ。ただ、日本被団協が求める核兵器禁止条約を批准せず、オプザバー参加も見送っている。「核兵器国は1カ国も参加していない」を理由とするが、ドイツはオプザバー参加をして

紛争解決へ 被爆者の声聞いて

ノーベル委員長

11日に授賞を発表したノルウェー・ノーベル委員会のヨルゲン・ワトネ・フリドネス委員長と、報道陣の間一答は以下の通り。

——世界中で紛争が起きている。委員会として指導者や当事者に贈るメッセージは。

被爆者の体験談、証言は「核兵器の使用はどれも受け入れられないものか」を思い起こさせてくれる重要なものです。彼らの声を聞くべきです。

世界で起きている動きや紛争を見ると、核兵器は一度と使われてはならないのだという規範を守るため、核兵器に対する「タブー」を維持することがいかに重要であるかがわかります。

この点において、日本の被爆者、被爆地は欠かせない存在です。すべての国家は(核兵器の)不使用に対する責任を負っており、その意味で被爆者の体験談が重要になります。

——あなたは(事前のインタビューで)「あまりに大きな紛争が複数起きていて、今年には特別だ」と語っていました。世界には、地平線上に暗い空を見ている人たちがたくさんいます。ただ、この賞をもって、私たちはそれ(視線)を引き上げたいたいと感じています。私たちはグローバルコミュニケーション(地球規模の共同体)であり、核兵器の脅威は私たち全員に及ぶ可能性があるのです。

——ほとんどの推測を裏切る形になった。なぜ今年、こうした授賞なのでしょうか。

——私たちがノルウェー・ノーベル委員会は、日本の新しい世代が、1945年8月の出来事を語り継ぐ責任を担っていることを認識しています。新しい世代が証人たちとともに、世界中の人びとを鼓舞、教育していくことが、核のタブーを維持するために極めて重要なことです。(ロンドン) 藤原啓

「努力への評価」 岸田前首相

岸田前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

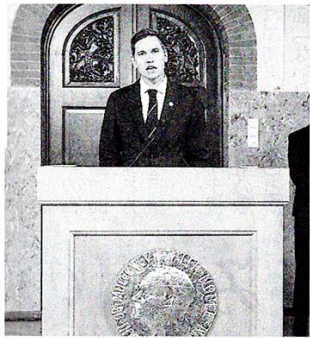
岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。

「努力への評価」 岸田前首相

岸田文雄前首相は11日夜、自身のX(旧ツイッター)で「日本原爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、被爆者の思いや被爆の実相の継承、核兵器のない世界と恒久平和実現に向けた長年のご努力に対する評価であり、心からお慶び申し上げます」とコメントした。



オスロで11日、ノーベル平和賞を日本被団協に授与すると発表したノーベル委員会のヨルゲン・ワトネ・フリドネス委員長。ノルウェーの通信社NTB提供=ロイター